

□■(株)技術情報センター ————— ■□

「いいテク・ニュース」
～ Ecology & Energy-Techno News ～

□■————— 2009. 4. 2 Vol.77 ■□

いつもお世話になっております。「いいテク・ニュース」第77号をお届け致します。

さて、今月号のメルマガでは、2009年5月度開催予定セミナー及び新規取り扱い書籍・調査資料のご案内を致しております。

新年度を迎えてもなかなか終わりの見えない不況の中ではありますが、米国のオバマ政権発足による「グリーン・ニューディール」や、次世代型自動車の開発競争、国内においても太陽光発電の本格普及に向けての動きが激しくなるなど、資源・エネルギー関連分野は、ホットな話題で溢れかえっています。

そこで今回お届けする5月度開催予定セミナーでは、高効率・低コストな太陽光発電を実現するための

『太陽光発電システムの構築と信頼性・性能評価手法』

から、発電だけでなく熱供給も併せたより高効率なシステムの設計について詳説する

『バイオマスコージェネレーションシステムの設計法』

更には、電池関連で今、最も注目を集めているリチウムイオン電池のトレンド・ビジネスチャンスに焦点を当てた

『リチウムイオン電池及び構成材料・関連商品の市場動向とビジネスチャンス』

といった資源・エネルギー関連の旬なテーマをはじめ、幅広い分野のセミナーを取り揃えておりますので、どうぞ最後までお読み下さいませ。

□■————— ■□

i n d e x

□■————— ■□

- ◇セミナー情報[2009年5月度開催予定セミナー/21件]
- ◇おすすめセミナーPick Up
- ◇新規取り扱い書籍情報 (5タイトル)
- ◇新規取り扱い調査資料情報 (2タイトル)
- ◆社内研修 (講師派遣) のご案内
- ◇セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数Top10

◇E-mail変更・不要について

◇あともがき

□ ■-----■ □
セミナー情報[2009年5月度開催予定セミナー/21件]

□ ■-----■ □

弊社が主催・共催するセミナーを、日付順でご案内致します。
詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございます
URLにてご案内致しております。

■ 12日(火)-----

技術者のための原価・採算・経理知識
<http://www.tic-co.com/seminar/20090517.htm>

土壌汚染の法規制と調査法ならびに
浄化関連ビジネスの展望・事業採算性
<http://www.tic-co.com/seminar/20090525.htm>

■ 13日(水)-----

～プラント関連を中心とした～
エンジニアのためのプロジェクトマネジメント
<http://www.tic-co.com/seminar/20090523.htm>

超臨界～亜臨界流体の特性と利用技術
<http://www.tic-co.com/seminar/20090516.htm>

■ 14日(木)-----

受変電設備・機器の診断と保守・保全対策
<http://www.tic-co.com/seminar/20090511.htm>

電気分解法による水処理技術
<http://www.tic-co.com/seminar/20090502.htm>

■ 15日(金)-----

～高効率・低コストを実現するための～
太陽光発電システムの構築と信頼性・性能評価手法
<http://www.tic-co.com/seminar/20090520.htm>

■ 19日(火)-----

ーロシアビジネス成功の法則ー
ロシア進出（提携・合併・独資）の具体的進め方と収益性判断
～経済危機後のロシア市場をどう攻めるか～

<http://www.tic-co.com/seminar/20090519.htm>

バイオマスコージェネレーションシステムの設計法

<http://www.tic-co.com/seminar/20090506.htm>

■ 20日(水)-----

海外進出(海外ビジネス)を成功に導くための事前調査の進め方
～海外進出調査マニュアルによる徹底事前チェック～

<http://www.tic-co.com/seminar/20090526.htm>

ブロワの設計入門

<http://www.tic-co.com/seminar/20090527.htm>

～さらなる排出ガス規制強化を見据えて！！～

ディーゼル排気触媒システムの計画と応用

<http://www.tic-co.com/seminar/20090571.htm>

■ 21日(木)-----

～排水規制に対応するための各種除去・処理システムの比較～
排水中フッ素・ホウ素の効率的除去・処理技術

<http://www.tic-co.com/seminar/20090501.htm>

“水素製造技術”最前線

<http://www.tic-co.com/seminar/20090518.htm>

わかりやすい振動の基礎と低振動の考え方・設計法

<http://www.tic-co.com/seminar/20090572.htm>

■ 22日(金)-----

中国特許法改正、特許侵害紛争と技術流出をめぐる
諸問題への対応

<http://www.tic-co.com/seminar/20090512.htm>

リチウムイオン電池及び構成材料・関連商品の
市場動向とビジネスチャンス

～技術開発・競合商品・アプリケーションの動向から
短・長期需要展望まで～

<http://www.tic-co.com/seminar/20090507.htm>

■ 26日(火)-----

一次世代生命科学に必須の技術！！－

超高速シークエンサーの実用性と可能性

～コストパフォーマンスも見据えて～

<http://www.tic-co.com/seminar/20090574.htm>

■ 27日(水)-----

～限られた予算を上手に活かし、最大限の効果上げるための～
研究開発テーマにおける評価方法と継続・中止判断のポイント
<http://www.tic-co.com/seminar/20090575.htm>

■ 28日(木)-----

－注目の次世代省エネ技術！！－
高温超電導モータ開発とその動向
<http://www.tic-co.com/seminar/20090576.htm>

■ 29日(金)-----

～「売れるおいしい」商品を開発するための～
食品企業の官能評価のあり方と商品開発への展開
<http://www.tic-co.com/seminar/20090577.htm>

□■-----■□

おすすめセミナーPick Up

□■-----■□

今回のPick Upは

『 ～高効率・低コストを実現するための～
太陽光発電システムの構築と信頼性・性能評価手法 』

セミナーです

オバマ政権発足による「グリーン・ニューディール」、住宅用太陽光発電導入補助金制度の復活、電力買取制度導入の決定など、太陽光発電の本格普及に向けた動きが激しくなってきた！

そのような急拡大する市場で、太陽光発電システム全体を構築する力、つまり「システム・インテグレーション力」が大きな注目を集めている！！

本セミナーでは、太陽光発電システムの構築に欠かせない基本ポイントから、システム構築の具体的手法、さらに高効率・低コストを実現するために不可欠な信頼性・性能評価手法まで、最前線でご活躍中の大谷先生に徹底解説頂きます！！

●講師 独立行政法人 産業技術総合研究所
太陽光発電研究センター
評価・システムチーム 研究員 大谷謙仁 氏

●日 時 2009年5月15日(金) 10:00~16:00

●会 場 東京・新お茶の水・総評会館 4F・401室

●受講料 49,980円(1名につき)
(同時複数人数お申込みの場合1名につき44,730円)
※テキスト代、昼食代、お茶代、消費税を含む

●プログラム概要

I. 太陽光発電システム構築についての基本的考え方

1. 太陽光発電システムの構造
2. システム構築の手順について
3. システム最適化についての基本的考え方
～高効率と低コストを実現するために必要なポイント～
4. システム制御・メンテナンスについての考え方

II. 太陽光発電システム構築手法

1. システムの設置場所の選択
～設置場所決定のポイント～
2. 太陽電池アレイの設計
3. パワーコンディショナ選定のポイント

III. 太陽光発電システムの信頼性・性能評価手法

- ～高効率・低コストを実現するために～
1. システム設計
 2. システム性能評価手法
 3. コストパフォーマンスの評価手法

IV. 質疑応答

詳しい講義内容・お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにて
ご覧下さい。

<http://www.tic-co.com/seminar/20090520.htm>

□ ■ _____ ■ □

新規取り扱い書籍情報(5タイトル)

□ ■ _____ ■ □

新たにお取り扱い致します書籍を、分野別にご案内致します。
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にございますURLにて
ご案内致しております。

----- 《 環境 》 -----

CO2の分離・回収と貯留・隔離技術
～低炭素社会を実現する最先端ナノテクノロジーと展望～
<http://www.tic-co.com/books/09nts219.htm>

----- 《 新材料・新素材 》 -----

高分子表面・界面分析法の新展開

<http://www.tic-co.com/books/2009t674.htm>

無機高分子の開発最前線

<http://www.tic-co.com/books/2009t669.htm>

金ナノテクノロジー

ーその基礎と応用ー

<http://www.tic-co.com/books/2009t666.htm>

----- 《 ニューバイオテクノロジー 》 -----

産業酵素の応用技術と最新動向

<http://www.tic-co.com/books/2009t678.htm>

□ ■ ----- ■ □

新規取り扱い調査資料情報（2タイトル）

□ ■ ----- ■ □

新たにお取り扱い致します調査資料を、ご案内致します。
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にございますURLにて
ご案内致しております。

＜他社の技術開発の実態を把握し、勝ち抜くためのエッセンス＞

特許情報分析(パテントマップ)から見た

化粧品

技術開発実態分析調査報告書

<http://www.tic-co.com/books/09ptt034.htm>

＜他社の技術開発の実態を把握し、勝ち抜くためのエッセンス＞

特許情報分析(パテントマップ)から見た

洗浄剤

技術開発実態分析調査報告書

<http://www.tic-co.com/books/09ptt033.htm>

□ ■ ----- ■ □

社内研修(講師派遣)のご案内

□ ■ ----- ■ □

弊社では、25年以上にわたる延べ5,000テーマ以上のセミナー開催実績をベースに、貴社のご要望に沿った社内研修（講師派遣）をご提供させていただきます。社内研修や新入社員研修をお考えの研修担当者様や、管理職の方々のご要望にお応えする数々の研修テーマを取り揃えておりますので、どうぞお気軽にご相談下さいませ。

詳しい内容は、下記リンクにてご覧下さいませ。

<http://www.tic-co.com/seminar/shanaikenshu.htm>

■ □
セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数Top10
□ ■

2月21日から3月20日までの約1ヶ月間のセミナー及び書籍のWebページアクセス数Top10を挙げてみました。

..... ★ セミナー Top10 ★

- 第1位 『リチウムイオン電池・電気二重層キャパシタの比較・評価とリチウムイオンキャパシタの開発動向』
(4月14日(火)開催) 347 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090407.htm>
- 第2位 『レアメタル等のリサイクル市場の動向とビジネスチャンス』 (4月16日(木)開催) 282 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090424.htm>
- 第3位 『花王における研究開発戦略の実際』
(4月17日(金)開催) 251 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090419.htm>
- 第4位 『英語プレゼンテーション入門』
(4月21日(火)開催) 239 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090421.htm>
- 第5位 『レアメタル等含有排水及び海水等からのリチウム・ウラン等有価物の回収技術』
(4月22日(水)開催) 221 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090401.htm>
- 第6位 『化学工場・プラント・施設における危険性評価と爆発・火災防止対策』
(4月17日(金)開催) 218 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090405.htm>
- 第7位 『触媒の基礎知識』 (4月21日(火)開催) 208 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090423.htm>
- 第8位 『冷凍機の技術開発動向』 (4月15日(水)開催) 207 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090403.htm>
- 第9位 『リチウムイオン電池及び構成材料・関連商品の市場動向とビジネスチャンス』
(4月9日(木)開催) 206 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090451.htm>

第10位 『微細藻類によるバイオ燃料生産システム構築と
最新研究動向』 (4月15日(水)開催) 191 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090471.htm>

今回の集計では『リチウムイオン電池・電気二重層キャパシタの比較・評価とリチウムイオンキャパシタの開発動向』が第1位にランクイン。

本セミナーは、リチウムイオン電池と電気二重層キャパシタの特性を始め、具体的なエネルギー・出力密度、充放電・開回路貯蔵特性、耐久性・安全性等の比較・評価と最近の開発動向・今後の展望、又、新しい蓄電デバイスとして注目されているリチウムイオンキャパシタの開発・応用展開について、斯界の第一線でご活躍されている講師により詳しく解説される講義として注目を集めているようです。

..... ☆ 書籍及び調査資料 Top10 ☆

第1位 『<<2009年度版>>
環境／エネルギー関連分野における国家戦略動向調査』 514 counts
<http://www.tic-co.com/books/2009tv06.htm>

第2位 『有機薄膜太陽電池の高効率化と耐久性向上』 378 counts
<http://www.tic-co.com/books/09sta033.htm>

第3位 『樹脂の硬化度・硬化挙動の測定と評価方法』 286 counts
<http://www.tic-co.com/books/07sta015.htm>

第4位 『有機薄膜太陽電池の最新技術Ⅱ』 272 counts
<http://www.tic-co.com/books/2009t657.htm>

第5位 『リチウムイオン電池 この15年と未来技術』 252 counts
<http://www.tic-co.com/books/2009t650.htm>

第6位 『マイクロ・ナノバブル応用商品実用化動向
/用途別潜在ニーズ/研究開発動向実態調査』 238 counts
<http://www.tic-co.com/books/2004tv03.htm>

第7位 『レアメタルリサイクル市場の現状と今後の方向性』 233 counts
<http://www.tic-co.com/books/2006tv04.htm>

第8位 『ウェットエッチングのメカニズムと
処理パラメータの最適化』 212 counts
<http://www.tic-co.com/books/08sta025.htm>

第9位 『界面活性剤の選択方法と利用技術』 199 counts
<http://www.tic-co.com/books/07sta019.htm>

第10位 『化合物薄膜太陽電池の最新技術』 194 counts
<http://www.tic-co.com/books/2007t561.htm>

今回の集計では、先日の特別増刊号にてご案内させて頂きました『<<2009年度版>>環境／エネルギー関連分野における国家戦略動向調査』が初登場第1位にランクイン。

当調査資料は、環境／エネルギー分野における、2009年度の各省庁の新施策・新法令・新ガイドライン・新(改正)税制等の内容／狙い／国内産業への波及効果に関しての最新の調査分析レポートとして大きな注目を集めているようです。

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

□ ■————— ■ □
E-mail変更・不要について

□ ■————— ■ □

E-mailアドレスが変更になった場合は、件名に『アドレス変更』とご記入頂き、本文には、

★ 旧E-mailアドレス

★ 新E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に『不要』とご記入頂き、本文には、

★ E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

※下記URLでも承っております。

<http://www.tic-co.com/melmaga/>

※このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合上、ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。

お問い合わせは info@tic-co.com までお願い致します。

□ ■————— ■ □
あとがき

□ ■————— ■ □

『書籍及び調査資料 Top10』でも書かせて頂きましたが、先日、特別増刊号でご案内させて頂きました調査資料『<<2009年度版>>環境／エネルギー関連分野における国家戦略動向調査』に大きな反響を頂いております。特別増刊号送信直後からも、多くの購入申し込みや試読申し込みを頂き、心より御礼申し上げます。

現在も購入・試読共に好評受付中ですので、ご検討中の方は、どうぞお早めに下記リンクから、お申込み下さいませ。

<http://www.tic-co.com/books/2009tv06.htm>

当メールマガジンへのご意見・ご要望等は melmaga@tic-co.com
にて承っておりますので、どしどしお寄せ下さいませ。

////////////////////

『 -その先の、深い情報へ- 』

(株)技術情報センター

[URL] <http://www.tic-co.com/>

[E-mail] info@tic-co.com

[TEL] 0120-06-0140

[FAX] 06-6358-0134